



美郷町の小川川に稚アユを放流する田代小児童

# 稚アユ大きく育って

## 田代小児童が小川川放流

美郷

美郷町西郷区の田代小(東村真一校長、89人)3、4年生36人は5月29日、同区の小川川でアユの稚魚を放流した。九州電力宮崎電力センター日向電力所(川添義信所長)が行う環境保全活動の一環として企画。児童たちは「大きく育ってね」と声を掛けながら稚魚を見送った。

西郷漁協も協力し、稚アユは約2千匹放流。児童たちは各自、アユの入った小型バケツを持ち、川岸からゆっくりと放した。水に入ったもの少し元気のないアユには「頑張れー」と励ます児童もいた。児童たちは河川など自然環境を守る大切さを事前学習して放流に臨んだ。4年生の本寛汰君(10)は「大好きなアユを放流できてうれしい。美郷の川がきれいになって、もっと魚が増えてほしい」と話していた。

この日はウナギも約80匹用意され、バケツから手に取って一人2匹ずつ川に流した。ぬるぬるする感触に「きゃー」「うわー」と驚きの声を上げ、なかなかつかめず悪戦苦闘していた。